

佐世保市幼児教育センターだより

「保幼小連携？ 幼保小連携？」

佐世保市子ども未来部長 岡 雄一



佐世保市は、なぜ「幼保小連携」ではなく「保幼小連携」という名称なのか？という質問をお受けしたことがありました。「幼保小」が一般的ではないのかというご指摘です。確かに、この原稿をパソコンで作成していても、「幼保小」という漢字にはすぐに変換されますが、「保幼小」は一発では変換されません。令和4年度から文部科学省が提唱しているのも『「幼保小」の架け橋プログラム』です。本市では最初から一貫して「保幼小連携」だと思っていた私でしたが、過去の経過を調べてみると、本市では、はじめは「幼保小連携」と言っていたものが、平成24年度の途中で「保幼小連携」という名称に変わったということが分かりました。

幼稚園・保育所等から小学校への「生活の接続」と「学びの接続」が円滑にできるよう、幼稚園、保育所及び小学校の代表が集まり、平成23～24年度の2か年で「保幼小連携接続カリキュラム」を作成することとなりました（今でいうところの「幼保小の架け橋プログラム」です）。その作業を担う「幼保小連携接続カリキュラム検討委員会」においては、様々な意見が出されたようです。その議論の中で「3歳未満児の育ちを踏まえなければ、3歳以上からの育ちを支えられない。そう考えると保育・幼稚園・小学校の順である保幼小となるのではないのか？」という意見が委員から出され、当時、本市が参考としていた東京都品川区のカリキュラム名称が「保幼小ジョイント期カリキュラム」であったこともあり、以後については本市では「保幼小連携」の名称を用いることになったというのが経過のようです。名称にもこだわった議論がなされ、検討委員会の名称も変更されていたとは驚きです。

その後も、令和2年度には「保幼小連携接続カリキュラムガイドライン」を作成し、現在に至っています。本市の幼児教育センターが設立されたのは平成15年4月のことですから、20年以上前からこれまで、幼稚園、保育所及び小学校などの関係者の皆さんが、「子どもたちのことを第一に」という熱い情熱でやってこられた様々な取り組みに、頭が下がる思いです。

今後は我々がこれまでの取り組みを継承し、さらに発展させていく番ですが、保幼小連携事業も最近足踏み状態が続いています。令和5年7月に行った保幼小連携に関するアンケートでは、「保幼小連携を推進する意識の度合い」の回答項目で、意識が高い又はやや高いと回答された割合が、乳幼児教育施設・保育施設では63.7%、小学校では68.8%に留まっている状況です。また、公開授業や公開保育への参加者も減少傾向にあるようです。各施設の先生方も忙しい毎日を送られているので、やむを得ない状況もあるのかもしれませんが、しかしながら、先ほどの意識の度合いも、何とか割合を8割に乗せたいところであり、今後も幼児教育センター職員一丸となって頑張っていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「保幼小連携」の取り組みも長くなってきたので、マンネリ化してきているのかもしれませんが、仮にマンネリ化しているのであれば、当初の目的を思い出し、我々が、なぜ何のために「保幼小連携」事業に取り組んできたのか、原点回帰する必要があるのかもしれませんが、当時の熱い議論を見習い、再度「保幼小連携」なのか「幼保小連携」なのかから議論を始めていくというのは、原点回帰しすぎでしょうかね(笑)

調理講習会

参加者（就学前幼児の保護者）

親子クッキング 8月17日（木）

～なかよしパフェ～

講師：長崎短期大学 講師 谷口英司氏

親子で楽しくクッキングの実習や、講師の実演・講話を行いました。



幼児向けの食事作り 12月7日（木）

～白菜と豚薄切り肉のトマトスープ煮・ピザブレッド・トルネードドッグ～

講師：管理栄養士 野々村洋子氏

アレンジしやすく、イベントでも使えるメニューの実習と試食、幼児期の食事についての講話を行いました。



おひさま教室（子育て支援親子遊び）

参加者（乳幼児とその保護者）

6月21日（水）、10月4日（水）、1月17日（水）

講師：臨床心理士・公認心理師 伊藤勢津子氏

親子ふれあい遊びを楽しんだ後、座談会で臨床心理士の先生から、子育てについての話や子どもの発達に応じたアドバイスと共に、参加者同士共感し合うことで、育児不安等の軽減へとつながっています。



離乳食講座

参加者（乳児の保護者・妊婦・乳幼児食育アドバイザー）

離乳食講座 5月～3月（12回）

講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子氏

離乳食に関する講話と調理の実演、実習、試食を行いました。



乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講座 5月9日（火）

講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子氏

乳幼児期における口腔機能の発達に着目し、月齢に応じた食の進め方、支援の方法を学びました。



きらきら広場

子育て支援の場「きらきら広場」は、スタッフやボランティアが温かく見守る中で、親子にとって交流の場、癒しの場となっています。月に1回広場で実施した親子活動では、様々なイベントや座談会などを行っており、参加者同士の交流を深めることができました。

親子活動内容

4月	子育てトーク「ほっとタイム」
5月	親子わくわくタイム
6月	緊急時の対応
7月	子育てトーク「ほっとタイム」
8月	夏の遊び（夏まつり）
9月	歯科育児健康教室
10月	親子ふれあい遊び
11月	子育てトーク「ほっとタイム」
12月	ミニコンサート
1月	子育てトーク「ほっとタイム」
2月	ピラティス
3月	子育てトーク「ほっとタイム」



教育相談

保育者・子育て中の保護者を対象に、幼児教育全般や育児に関する相談を受けています。（当センター職員、長崎県立佐世保特別支援学校地域支援担当職員）お気軽にご相談ください。電話での相談もお受けいたします。

子育てサークルネットワーク

佐世保市内で活動しているおよそ26の育児サークル・子育て支援グループの事務局として、支援を行っています。

情報発信

- 保幼小連携接続カリキュラム ●保幼小連携「接続カリキュラムガイドライン」 ●保幼小連携の取組み（関係者向け）・（家庭版）
- 佐世保市「保幼小連携の取組み」ポスター ●要録様式（佐世保版）改訂版 ●きらきらだより ●乳幼児施設ガイド ●幼児教育センターパンフレット ●させぼっ子ナビ（母子手帳アプリ） ●育児サークル&子育て支援グループ一覧 ●研修のまとめ ●幼児教育センターだより ●図書貸出し（絵本、教職員・保護者向け書籍、エプロンシアター等） ●佐世保市保幼小連携アンケート調査に関する報告書 ●赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業報告書

佐世保市ホームページでは、幼児教育センター事業について、詳しい内容を随時更新、掲載しています。ぜひご利用ください。

幼児の輝きを引き出す
佐世保市幼児教育センター

〒857-0822 佐世保市山祇町 387 番地

TEL: 0956-31-0550 E-mail: youjik@city.sasebo.lg.jp

ホームページはこちらから



令和5年度 佐世保市幼児教育センター事業報告

職員研修講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

幼児教育研修会Ⅰ【基礎】 10月3日（火）
「保育者としての私はどのような姿勢で子どもと向き合えば良いのか？」

講師：広島大学大学院 教授 中坪史典氏

経験年数5年未満の職員を対象とした保育の基礎を学ぶ講座です。保育者の姿勢、子ども理解、環境構成について学び、「保育者としてこれからどのような姿勢で向き合うか」について、グループごとに語り、活発な意見交換がなされる研修となりました。



幼児教育研修会Ⅱ【中堅】 10月3日（火）
「ミドルリーダーとしての園内での役割を学ぼう」

講師：広島大学大学院 教授 中坪史典氏



経験年数5年以上の職員を対象としたミドルリーダーとしての役割について学ぶ講座です。「職員同士のチームワークの必要性」「職場の雰囲気づくり」について、事例からの気づきや、互いの考えを語り合いながら研修を行いました。

幼児教育研修会Ⅲ【主任・主幹教諭】 10月2日（月）
「主任・主幹教諭としての役割を学ぼう」

講師：広島大学大学院 教授 中坪史典氏

主任・主幹教諭を対象とした講座です。施設長、中堅保育者、若手保育者にとっての自分たちの役割、求められる資質・能力や、職員同士の良好な関係・職場づくりについて学びました。



幼児教育研修会Ⅳ【園長・副園長】 9月6日（水）
「管理職としての20世紀型保育と21世紀型保育」

講師：佐賀県幼児教育アドバイザー 庄籠道子氏



園長・副園長を対象とした講座です。今求められる保育について、キーワードは主体性と自己決定、そして人権を尊重すること、こどもまんなか社会の実現に向けて考えを深めました。

職員研修講演会 7月7日（金）*西九州させほ広域都市圏
「子ども主体の質の高い保育を目指して 一子どもがワクワク、保育者がワクワク、保護者がワクワク」

講師：玉川大学 教授 大豆生田啓友氏

乳幼児教育・保育施設職員が、子ども主体の保育や子どもの「主体性」「その子らしさ」を尊重することの大切さなどについて、たくさんの事例をもとに学びました。多くの参加者が心を揺さぶられ、改めて子どもと向き合い、保育・教育への意欲をかきたてられる大変貴重な時間となりました。

保幼小連携講座

参加者（小学校教諭・乳幼児教育・保育施設職員等）

担当者会

第1回保幼小連携担当者会 4月～5月

市内47各校に担当者が集まり、年間交流計画や情報交換等、保幼小連携について協議がなされました。

第2回保幼小連携担当者会 1月

各ブロックごとに開催し、それぞれの立場から接続期の子どもの姿や、「接続カリキュラム」を通して「育てたい姿」「育ってほしい姿」について伝え合い、教育・保育環境について考え協議を行いました。

公開授業・保育

「小学校教育について学ぼう」 7月 4日 花高小学校

「幼稚園教育について学ぼう」 11月 22日 花高幼稚園

「保育所の保育について学ぼう」 12月 14日 昭徳こども園

子どもの姿を通して「3つ柱」と「10の姿」について共有し、育ちと学びの連続性について考えあうと共に、連携の在り方や考え方、必要性について協議しました。



保幼小連携講演会 8月 25日（金）

「このままでいいの？～佐世保市の保幼小連携～」

講師：西南学院大学大学院 教授 門田理世氏

門田研究室より、今年度の保幼小連携アンケート結果概要報告を受けながら、参加者とともに佐世保市の現状と課題を踏まえ、今後の連携の在り方や進め方を考えました。確かなエビデンスを基に改めて連携の重要性について学びました。



施設長会（ブロック別） 7月 11日～8月 1日（5回）

小学校及び義務教育学校と乳幼児教育・保育施設の長が、グループ別に各施設の保幼小連携の取組みについて協議を行い、理解を深めました。



要録に関する研修会 11月 14日（火）

「幼児教育と小学校教育の接続を意識した

要録の書き方」

講師：長崎県こども未来課 幼児教育・保育支援班 幼児教育センター 課長補佐 高田敦氏

要録の目的、指導・保育に関する記録のポイント、要録を活かすための「書き方」と「使い方」について、演習を交え学びました。（対象：乳幼児教育・保育施設職員等）

保幼小連携担当者の会（オンライン開催） 1月9日（火）

今年度初めて開催しました。佐世保市の保幼小連携の現状と課題、子どもの育ちと学びをつなぐための連携の在り方や必要性について、事務局より情報発信を行いました。

特別支援教育講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

特別支援教育研修会Ⅰ-①・②

①5月 31日（水）オンライン開催

「子どもの特性理解と発達に合わせたかかわり」

②6月 14日（水）オンライン開催

「子どもの育ちと保護者支援」

講師：兵庫大学 講師 藤野正和氏

子どもの障がいと特性をどのように捉えるのか、発達に合わせた保育者のかかわりの大切さ、保育・幼児教育における保護者の理解と支援について学びました。自らの保育を改めて振り返る研修となりました。

特別支援教育研修会Ⅱ 10月 20日（金）

「特別な支援を必要とする子どもの視点から 保育環境を考える」

講師：長崎大学 教授 吉田ゆり氏

保育環境を構造化し、特別な支援を必要とする子ども達が安心して生活できる場を整えることの重要性を学びました。人的環境である保育者としてどうあるべきか、またその役割について改めて見直す機会となりました。



赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業

参加者（一般市民・小学生）

6月 20日（火）・26日（月）【白南風小学校5年生】

6月 22日（木）【潮見小学校6年生】

6月 27日（火）【木風小学校6年生】

11月 20日（月）【船越小学校5年生】

乳児とその保護者、小学校5～6年生との交流会を行いました。赤ちゃんを中心として温かなふれあいが数多く見られました。赤ちゃんや子育て、家族等について、いのちの大切さをそれぞれの立場で感じながら考える事ができ、有意義な時間となりました。



赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業

「おおきくなったね」

参加者（一般市民・小学生）

11月 8日（水）【木風小学校6年生】

11月 27日（月）・30日（木）【白南風小学校5年生】

再会の会である「おおきくなったね」では、お互いの成長を感じる事ができ、交流が深まりました。

実技講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

実技研修会 8月 8日（火）*西九州させほ広域都市圏

「ぼくの作った歌と絵本」

講師：中川ひろたか氏

講師の代表作である「せかいじゅうのこどもたちが」「にし」など名曲の数々をピアノの生演奏と共に披露され、保育に活かせる内容を実技形式で楽しみながら学ぶことができました。



調理担当者実技研修会

8月 29日（火）、9月 13日（水）、15日（金）

「食物アレルギーについて」

講師：健康づくり課 管理栄養士

食物アレルギーについて学び、施設で作成された食物アレルギーマニュアルを活用してグループワークで情報交換を行いました。また、不足しがちな栄養素を含む食材をつかい、調理実習も行いました。



子育て講座

参加者（一般市民・乳幼児教育・保育施設職員等）

子育て講演会 7月 8日（土）*西九州させほ広域都市圏

「幸せ子育て」のコツって？

講師：玉川大学 教授 大豆生田啓友氏

「いまだときの子育てで大切なこと」

講師自身の子育ての経験や、子どもの育ちに関する専門的な内容等についてご講演いただきました。温かい励ましの言葉とアドバイスに、子育てに対して前向きな気持ちになることができました。



父親向け育児講座

参加者（一般市民・乳幼児教育・保育施設職員等）

育児講座 9月 17日（日）中止

「パパフェス～おとうさんと一緒に遊ぼう！～」

講師：大阪教育大学 教授

大阪教育大学附属天王寺小学校 校長 小崎恭弘氏

大雨により講座は中止となりましたが、講座の内容をまとめた動画「パパに贈る子育てのいくつかのお話」を配信しました。（配信期間R5年11月1日～令和6年3月31日）

親子ふれあい遊び 2月 11日（日）

「ふわふわポリ袋であそぼう」

講師：運動遊び・体づくり（体操）運動指導者 澤井雅志氏

親子で体を動かしながらふれあうことで、笑顔と元気があふれる楽しい時間を過ごしました。